

平成28年12月22日
～美ら島の未来を拓く～
沖 縄 総 合 事 務 局

平成28年度 第1回

「沖縄県交通安全マネジメント検討会議」開催結果

1. 開催日時

平成28年12月21日（水）13：30～15：00

2. 議題

- （1）幹線道路及び生活道路の交通安全対策
- （2）生活道路の交通安全対策の取組紹介

3. 議事概要

- ・ 幹線道路における交通安全対策について事務局より報告後、質疑応答を行った。
- ・ 生活道路における交通安全対策について事務局より報告後、質疑応答を行った。
- ・ 浦添市内での生活道路の交通安全対策の取組事例を事務局より紹介を行った。

問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局

開発建設部道路管理課

担当者：課長 高良、課長補佐 岡本

TEL：(098)866-1915

FAX：(098)861-9929

1. 幹線道路の安全対策

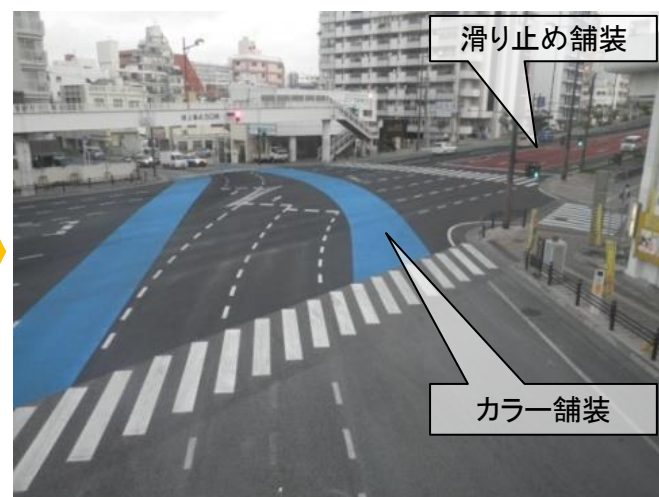
●事故が頻発していた泊交差点で対策を実施（平成25年3月完成）

- 交差道路のカラー舗装により、走行位置を明示
- 滑り止め舗装により、車両速度を抑制

【対策前】



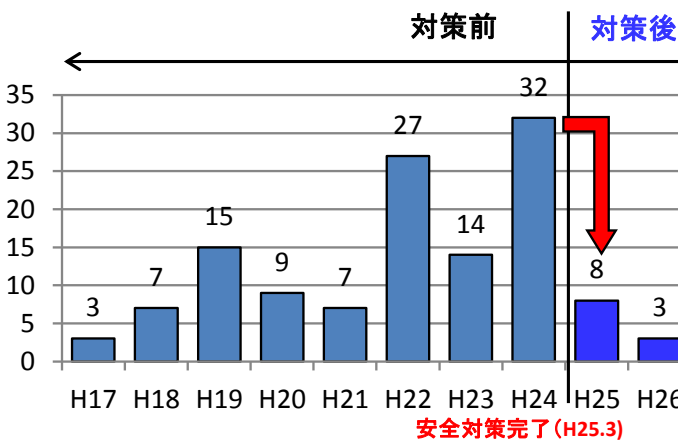
【対策後】



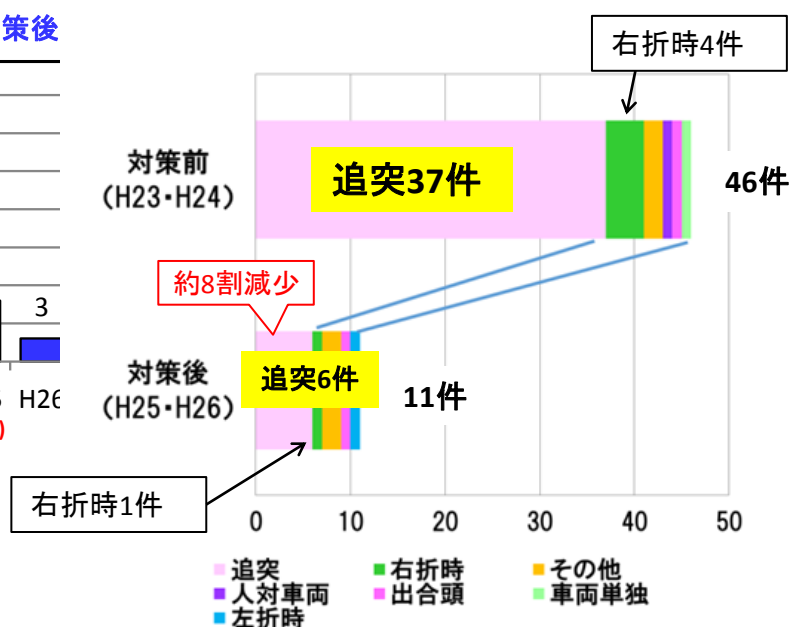
●対策後は大幅に事故が減少

- 交差道路の動線が明確となり、追突、右折時事故が大幅に減少

【事故件数の推移】



【事故類型別件数の比較】



2. 生活道路の安全対策

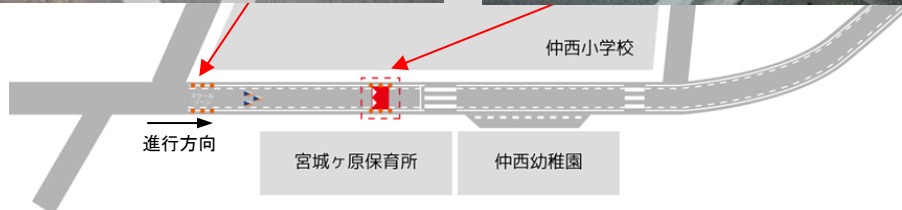
●浦添市で国の技術基準に基づいた形状のハンプを設置（国内初！）

- バス専用レーン延長（H27.2）にあわせて、並行する生活道路（浦添市仲西小前）に浦添市と沖縄県が連携して、通行車両の走行速度の抑制を図る狭さく及びハンプを整備
- 国の技術基準に基づいた形状のハンプ設置は国内初

・狭さく



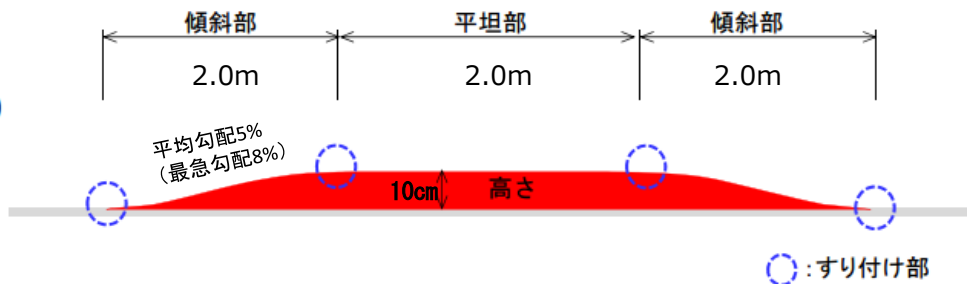
・ハンプ



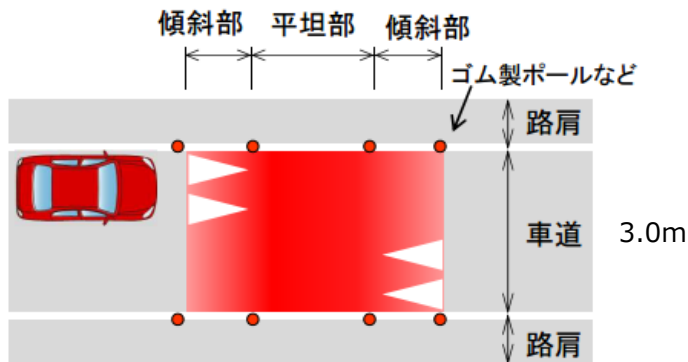
凸部、狭窄部及び屈曲部の設置に関する技術基準（国土交通省、H28.3）

- ハンプは、傾斜部と平坦部から構成し、擦り付け部はサイン曲線で処理され、騒音が発生せず、30km/h以下の速度域であれば、不快感を感じない形状

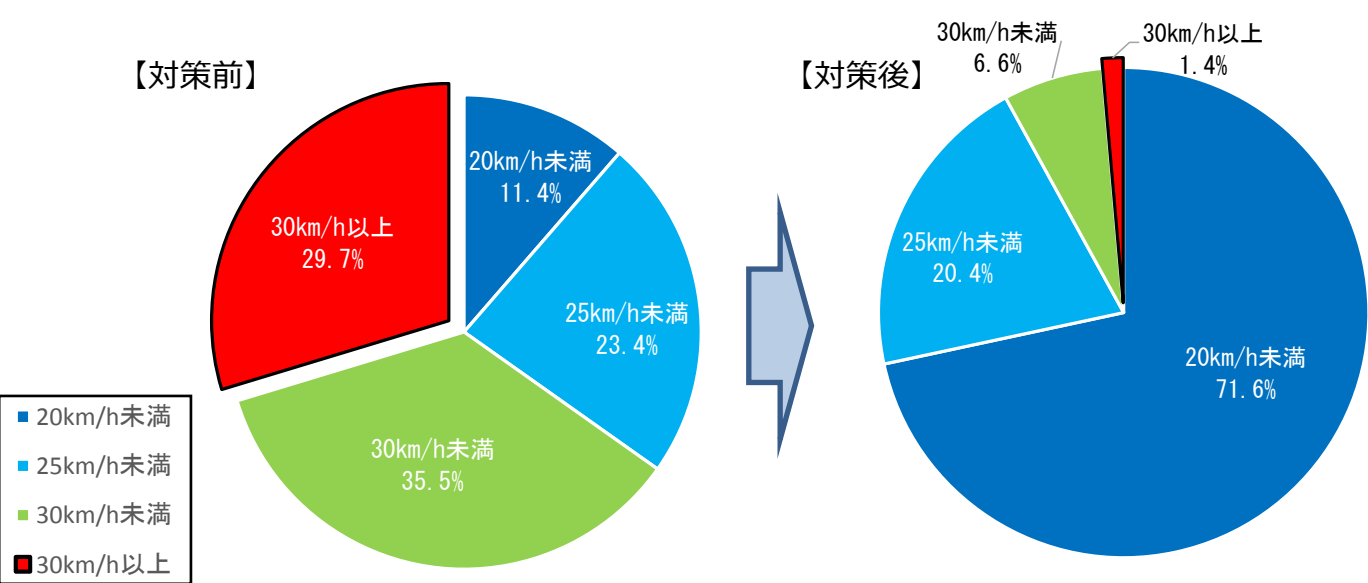
(断面図)



(平面図)



- 通学路を通過する自動車の走行速度が大幅に低下
 - ハンプ整備後、30km/h以上の速度の構成比が大幅に減少（29.7% → 1.4%）
 - 20km/h未満の速度の構成比が大幅に増加（11.4% → 71.6%）
- 対策前：平成27年1月 サンプル数：3261サンプル 平均速度：26.4km/h
- 対策後：平成27年2月 サンプル数：3652サンプル 平均速度：16.8km/h **（36.3%減）**



【観測箇所・観測状況】



モバイルトラフィックカウンターでの観測状況